

知恵と経験を生かしてより楽しくより内容の充実を！

総会に揚げた課題を評価

副代表 福本文雄

平成28年も早12月、昔は師走などと言って年の締めくくりに忙しく、師も走るほど忙しい時期と言われましたが、今年年中師走なので、年の暮れの感覚が薄れてしまいました。

「此の案件は緊急案件なので、何よりも優先して処理して下さい」等と言われても、昔は「先方から重要書類が未だ届きませんから、如何にも成りません」という言分けができ、心の準備と言うか、対処を考えている余裕が有りましたが、ファックスができ、メールができ、

即座に目の前に必要資料が整ってしまい、すぐ着手せざるを得なくなり、バタバタしている間に、気が付けばお正月・・・こんな一年が、今現役で頑張っておられる方々の現状かもしれせん。

心を込めて準備作業 平成28年度を振り返って

「森とせせらぎネット」の一年も、こう言う方々の支えによって、何とか一年一年を無事に少しずつでは有りますが、前進することが出来ています。

改めて、平成28年を振り返りますと、4月恒例のお花見を兼ねた総会は、既に桜は散ってしまい、少し肌寒さを感じる4月10日、井田神社で行いました。一年間の報告と予定を確認し、女性部の心こもった手料理をつまみながら、盛



左より田辺総務部長、稲本副代表、松本代表、(平成28年総会より)

り上がりしました。「森とせせらぎ祭り」の役員会なども始まり、実行委員会などの日程も検討されました。

ネットの役員会は毎月第一水曜日となっていますので、此れに合わせ、祭りの役員会も進められました。

▼毎月第一日曜日には皆でゴミ拾いを兼ね遊歩道を視察し、危険な場所、改修の必要な設備などを確認することに成っていましたが、今年は2回ほどしか出来ませんでした。

▼6月のシンポジウムは、一番問題と成っている藻の発生による悪臭対策について、今まで色々対策を考えてきましたが、決定的な良案は無く、それ以外で喫緊に改善しなければ成らない問題点も見つからない為、今年、江川の地下に設置されている防災用の



江川貯留管見学を視察するネット会員

深さ50m距離1500mと総工費280億

巨大隧道を視察する事とし、中止と成りました。

▼8月、お盆前後で毎年行っている灯笼流しは、今年はお盆が終わった8月21日にいたしました。好天に恵まれ、雨の心配も無く、大勢の参加者と共に楽しむことが出来ました。地元ではかなり知名度も上がり、今年もイツコツムから取材に来てくれたり、タウンニュースなどでも紹介して頂きました。

▼10月末から11月初旬には毎年「森とせせらぎ祭り」を行っています。今年も文化の日、11月3日に致しました。此の催しは、ネットとせせらぎ遊歩道を愛されている近隣住民の方々で、実行委員会



を結成し、毎年行われており、今年も10回目の節目の年でした。祭りの為、他の行事とバッティングし、参加人数が危ぶまれていましたが、風も無い好天の日和に、延べ約800人を数える大盛況の記念大会とする事が出来ました。4月からこの一日の為に色々準備を進めてきたスタッフ達に、心地よい達成感を与えてくれ、来年への意欲をわきたたせてくれました。

12月には各部ごとに反省会を行い、来年への鋭気を養いました。年度末までには、祭り会計報告、新年会、ネットニュース、祭りアルバム作成など、まだまだと遣ることが有りますが、来年度に向け役員一同頑張るつもりです。本年もご協力有り難う御座いました。

新実行委員長に田辺達夫氏



堂々と挨拶をする実行委員長

今回、11月3日(祭)に第10回森とせせらぎ祭りを開催しました。この祭りはどういう訳か天気にもめぐまれず今回も心配してましたが、当日は夜半の雨も止み絶好の祭り日和となりました。入場された方も約8千人近く大変な盛況を博す事が出来ました。

森とせせらぎ祭りは、節目の10回記念開催ですが、当初は中原区下小田中の広場を借りてこじんまりとした開催でしたがその後会場を橘公園に移し回数を重ねるごとに盛大の祭りへと成長してきました。

地域の皆様のご理解とご協力によるものと深く感謝しております。また、今回の開催にあたり貴重な協賛金を頂いた法人や個人の方々に、改めてお礼を申し上げます。祭り開催の活動資金として有効に活用させていただきます。

「森とせせらぎネット」の会では、他にも江川せせらぎ遊歩道を中心



に夏の灯ろう流しやたらい舟を、絵手紙、写真展、視察研修、遊歩道パトロールなどの活動を通じて皆様に地域コミュニティ創造の場を提供したいと考えております。少しでもご利用頂ければ幸いです。

森とせせらぎネット 前代表 松本浩二郎

退任にあたり今思う

江川せせらぎ遊歩道(以下遊歩道)は平成十五年の三月に開設されました。中原区と高津区に造られた人工河川「せせらぎ」の完成式典で、大石富治さんが大きな声で格調の高い挨拶をされました。明津町会からは町会長の岸鶴吉さんや、小林末蔵さんが開設に参加されました。

散歩者から「トイレ開設」の要望が多数で、管理棟トイレの使用頻度調査を周辺町会で行い、市に要望し「トイレの開放」が実現しました。また「掲示板設置」の要望も市に取り次ぎ掲示板が新設され、今では文芸作品の展示もされています。また、草むしりなどの「遊歩道美化活動」は各町会で毎月行われています。

『水と緑の回廊づくり』を目指した「せせらぎネット」の準備会には明津の上条さんに連れられて参加し、「三か年計画」を提案し「祭り」が始まりました。第1回の祭りはひとみ座の石川さんが企画推進し、私は石川さんにひいて祭りの立ち上げを学びました。しかし、第1回の祭りは立派な舞台を準備したのに雨で使えず、悔しい思いをしたのも昨日の思い出のような気がしています。

森とせせらぎネット及び 関連団体のイベント紹介

▼せせらぎネットの新年会

一月十五日(日) 井田神社にて詳細はポスターにて確認

▼神庭・里山を楽しむ会

二月五日(日) ジャガイモ植え付け・大根収穫祭
詳細は神庭緑地掲示板にてご確認ください。

魅力発信講座

秋の江川を歩く

秋の季節を肌で感じながら江川せせらぎ遊歩道を散策し「なかはら散歩ガイドの会」志賀会長以下役員と参加50名近くの皆さんが我々の森とせせらぎネットの活動やせせらぎ遊歩道の経緯、成果やこれからの課題等を講座の一環に取り上げて頂き、中谷文化部長が説明担当し、その報告をします。



管理棟の前で分かり易く説明する中谷部長
熱心に聞き入る参加者の皆さん

お天気に恵まれた10月31日「まち歩き秋の江川を歩く」受講者40名とガイドの会の皆さんがせせらぎ遊歩道を散策されました。せせらぎネットでは管理棟でお迎えし当日は、絵手紙の展示と長椅子を用意し江川せせらぎ遊歩道の一年間の行事と親水緑道の完成までの経過をお話させて頂きました。
質疑応答がありせせらぎ文化部の遠藤さん、須山さん近隣の萩原さんにも丁寧な答えて頂きました。「四季折々に誘い合ってゆっくり良い季節に又訪れたい」と言って帰路につかれました。
お疲れ様でした。

せせらぎ物語 第7話

「せせらぎ遊歩道基本計画」でできる
田辺勝義
1993年9月に請願が採択されたのを機に、私たちは具体的な「せせらぎ創り」へ進みました。具体的にはその「請願」に添付した「意見要望書」の具体化をすることでした。

その中には、桜並木も含め四季の景観が楽しめるように樹木を植えること、せせらぎはなるべく自然に近いものを作ることで、管理棟（トイレも）やベンチ、子どもの遊具なども設置することなどが入っていました。

この要望をリアルに伝えるために、私たちはその発想の基になった江戸川区「小松川親水公園」の見学を再度行いました。嬉しかったのは、その後、市担当者の大川さんらが事例研究のためにそこを訪れたことでした。私は、それを聞いて、彼らとしっかりと手を結びせせらぎの完成を目指そうと決めました。

「要望書」の具体化については、担当者とは何回か意見交換をし、実現の可否を検討しました。そして、約1年後に出てきた「基本計画案」は、全体のイメージを「都市（新城市街）から自然（井田山）へ」と向かう水と緑豊かな回廊（散歩道）とし、目標として「せせらぎの復活、景観上の向上、防災の利用」を挙げていました。

この計画案はその発想が私達のイメージを超える素晴らしいものでした。
次号に続く

一足先に「森とせせらぎ祭り」写真集より先に!

第10回「森とせせらぎ祭り」を記念大会と名を打って趣向を凝らし、参加された皆さんから「感激しました。多に楽しめました」と数多くの声を頂きました。

舞台の出演者が三八〇名、出店一九店舗と会場が一日中、笑顔と歓声が絶えず事故も無く無事終わりました実行委員会も肩の荷が下りた感じでした。

来賓の福田川崎市長も挨拶後、各会場を田辺代表と楽しそうに声を掛けて買い物をして頂きました。一足先にこの模様をおた楽しみ下さい
広報部長 遠藤記

絵手紙の表彰式 稲本氏より



企画部の打合に聞き入る。

福田紀彦川崎市長、遠藤氏、田辺氏

写真提供
田中達也
稲本文雄
大竹豊子



アロハヒラ フラダンスの皆さん
見事なステージです。



田辺達夫代表挨拶